

オクオカ知りたいこと集

暮らしの

巻内

オクオカの北西あたり

生平・秦梨・常磐南・
常磐東・常磐・
恵田・奥殿 学区編

本編ではオクオカの北西あたりに位置する7学区を対象としています

岡崎市
オクオカへ
移住を考えている
みなさんへ

be
natural,
with
nature

このエリアはどんな場所？

平成18年に岡崎市と額田町が合併しましたが、このエリアはオクオカ12学区の中で額田町と合併する以前から岡崎市だったエリアです。石材産業や紡績など農産物以外の自然資源を活かした産業が古くから行われており、また道根往還が通っていたり、今は奥殿陣屋となっている場所には奥殿藩の中心があったりと政治や交通の要所ともなっていました。また、自然

が豊かでありながら、岡崎市や豊田市の市街地や豊田東ICにも距離が近く、便利さと自然の豊かさを感じられる場所となっています。観光ぶどう園の他、瀧山寺や奥殿陣屋などの史跡も多くみられ、観光地としても多くの人が訪れています。



ぶどう農園（恵田学区）



瀧山寺鬼まつり（常磐学区）



道根往還（常磐南学区）

編集部の声

インフラも十分にあり便利な場所です！

ぶどう

紡績・反もう

寺社仏閣

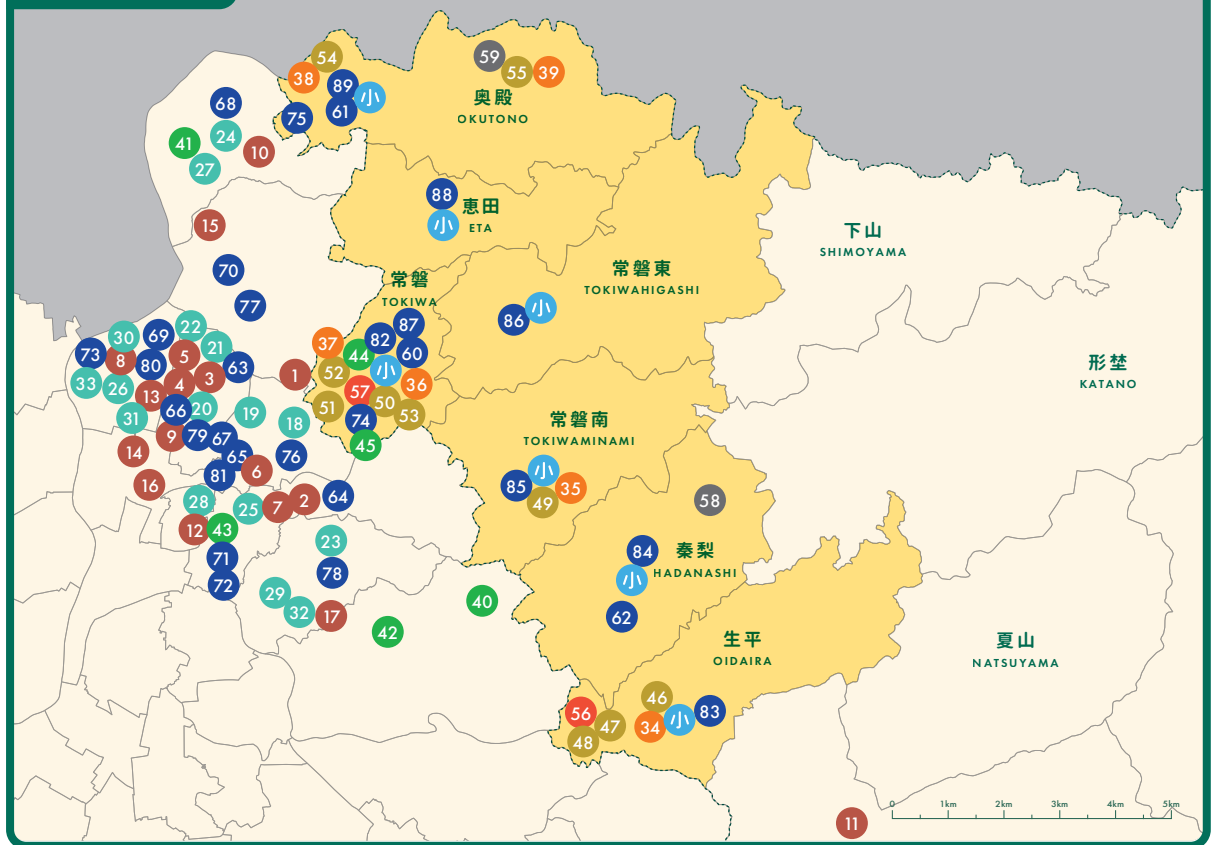
石材

岡崎の中心市街地にも程近く、
まちの便利さとオクオカの豊かさを
味わえる地域です！

観光地に向かいながら 道中に見える風景に注目！

ぶどう園や瀧山寺、奥殿陣屋など観光地として開かれた場所がたくさんあるので、まずは気軽に遊びに出かけてみてください。車窓から見える山々や、広がる畑の産物、悠々と流れる青木川などを見ながらこのまちで暮らすことをちょっと想像してみるのがおすすめです。

エリアマップ



マップで登場したポイントについて

スーパー

- 1 おかざき農遊館
- 2 業務用食品スーパー
アマカ 岡崎店
- 3 ドミー 百々店
- 4 フェルナ 井ノ口新町店
- 5 ヤマナカ アルテ岡崎北
- 6 SUPER MARKET
Mikaway 稲熊店
- 7 ドミー 稲熊店
- 8 ドミー 大樹寺店
- 9 エクボ 大樹寺店
- 10 メグリア北斗店
- 11 はいらっせぬかた
- 12 アオキスーパー 伊賀店
- 13 パロー 大樹寺店
- 14 フェルナ井田西店
- 15 ドミー 岩津店
- 16 コープ岡崎北
- 17 ファール KAKEMACHI店

ドラッグストア

- 18 ゲンキー 真伝町店
- 19 V・drug 岡崎堂前店
- 20 スギ薬局 鴨田店
- 21 V・drug 岡崎百々店

- 22 スギ薬局 岡崎北店
- 23 ゲンキー 小呂店
- 24 スギ薬局 細川店
- 25 スギ薬局 稲熊店
- 26 スギ薬局
ドミー大樹寺店
- 27 B&Dドラッグストア
岡崎仁木店
- 28 ココカラファイン
岡崎伊賀店
- 29 ドラッグスギヤマ
岡崎中町店
- 30 アイン薬局 岡崎大門店
- 31 スギ薬局 大樹寺店
- 32 スギ薬局 岡崎欠町店
- 33 ウエルシア岡崎大樹寺店

小規模な小売店・コンビニ

- 34 ファミリーマート
岡崎生平町店
- 35 ローソン 岡崎田口町店
- 36 ローソン 岡崎滝地店
- 37 セブン-イレブン
岡崎滝町店
- 38 ローソン 岡崎桑原町店
- 39 セブン-イレブン 新東名
NEOPASA岡崎店

総合病院・大学病院

- 40 愛知県三河青い鳥
医療療育センター
- 41 愛知医科大学
メディカルセンター
- 42 岡崎市市民病院
- 43 三嶋内科病院
- 44 ときわ歯科医院
- 45 田井整形外科クリニック

金融機関ATM

- 46 ゆうちょ銀行 名古屋支店
ファミリーマート
岡崎生平町店内出張所
- 47 JAあいち三河
男川支店河合店
- 48 河合郵便局
- 49 ローソン銀行ATM
岡崎田口町共同出張所
- 50 常磐郵便局
- 51 JAあいち三河 常磐支店
- 52 セブン-イレブン
岡崎滝町共同出張所
- 53 ローソン銀行ATM
岡崎滝地共同出張所

- 54 ローソン銀行ATM
岡崎桑原町共同出張所
- 55 セブン-イレブン
新東名NEOPASA
岡崎店 共同出張所

郵便局

- 56 河合郵便局
- 57 常磐郵便局

ガソリンスタンド

- 58 須淵SS 株式会社大久保商店
- 59 ENEOSウイング 新東名高速
道路 岡崎サービスエリア SS

保育園

- 60 常磐保育園
- 61 岩松保育園
- 62 秦梨保育園
- 63 百々保育園
- 64 稲熊保育園
- 65 井田保育園
- 66 大樹寺保育園
- 67 八十塚保育園
- 68 細川保育園
- 69 はな保育室かみさと
- 70 岩津保育園

- 71 梅園こども園
- 72 燕ヶ丘保育園
- 73 大門保育園

幼稚園

- 74 かおる幼稚園
- 75 あさひ幼稚園
- 76 レオナ第一幼稚園
- 77 レオナ第二幼稚園
- 78 第一早蕨幼稚園

保育施設

- 79 ハグくみ岡崎大樹寺園
- 80 ハグくみプラス
- 81 ハグくみ岡崎園

児童育成センター

- 82 常磐児童育成センター

こどもの家

- 83 生平学区こどもの家
- 84 秦梨学区こどもの家
- 85 常磐南学区こどもの家
- 86 常磐東学区こどもの家
- 87 常磐学区こどもの家
- 88 恵田学区こどもの家
- 89 奥殿学区こどもの家

※各小学校から5km圏内にある主要施設を掲載しています。

※ATM、小規模な小売店・コンビニ、郵便局、ガソリンスタンド、児童育成センター、こどもの家、病院・診療所は、エリア内にあるもののみ掲載しています。

人口・面積

常磐学区は、滝田地や緑風台など団地があることから人口がオクオカで最も多いです。

	生平	秦梨	常磐南	常磐東	常磐	恵田	奥殿
人口	1,200人	855人	1,374人	1,046人	4,116人	947人	1,773人
世帯数	494世帯	375世帯	480世帯	441世帯	1677世帯	330世帯	669世帯
面積	11.11 km ²	10.28 km ²	9.62 km ²	15.13 km ²	5.01 km ²	6.56 km ²	11.82 km ²

このエリアの暮らしの圏内

気になるインフラ・日々の暮らしについて

自然豊かで過ごしやすいオクオカ。とはいえ、いざ移り住んだら、毎日の生活が待っています。まずは基盤となる足元に注目してみたいと思います。ここでは、買い物、交通、病院・診療所、子育てというカテゴリから日々の生活に役立ちそうな、施設や場所をピックアップしてみます。

※エリア内の主要施設を掲載しています。エリア内にはない場合は、各小学校から最寄りの施設を掲載しています。

買い物

📍 **おかざき農遊館** (地元の野菜が並ぶの直売施設です)

常磐小学校から1.5km (車で3分)

📍 **ゲンキー 真伝町店** (日用品も揃うドラッグストアです)

常磐小学校から1.6km (車で4分)

📍 **ファミリーマート 岡崎生平町店**

生平小学校から95m (徒歩1分)

コンビニ、ドラッグストアはエリア内に複数件ありますが、スーパーマーケットはエリア内にはありません。ただ、常磐小学校から車で10分ほどで「ドミー 百々店」「フェルナ 井ノ口新町店」など複数のスーパーマーケットがあるので、生活する中で不便を感じることはほとんどなく過ごすことができます。

病院・診療所

📍 **ときわ歯科医院**

常磐小学校から650m (車で2分)

📍 **田井整形外科クリニック**

常磐小学校から1.3km (車で3分)

📍 **愛知医科大学メディカルセンター**

奥殿小学校から4.3km (車で9分)

📍 **愛知医科大学メディカルセンター**

常磐南小学校から4.9km (車で7分)

エリア内に「ときわ歯科医院」と「田井整形外科クリニック」があります。また、総合病院では、奥殿小学校から車で9分で「愛知医科大学メディカルセンター」、常磐南小学校から車で7分で「岡崎市民病院」があるため、もしものときに安心です。

交通

📍 **伊勢湾岸自動車道 豊田東IC**

奥殿小学校から6.8km (車で13分)

📍 **東名高速道路 岡崎IC**

常磐小学校から5.8km (車で11分)

📍 **名鉄バス**

額田支所市民病院線、桜形線、岩中線、大沼線、岡崎市内線

伊勢湾岸道路の「豊田東IC」には奥殿小学校から車で15分、東名高速の「岡崎IC」には常磐小学校から車で15分で行くことができます。「名鉄バス」も東岡崎駅発着の路線が複数運行しており、さらに愛知環状鉄道の大門駅が最寄りで常磐小学校から車で10分にあるなど、交通の面での不便さを感じることは少ないです。

子育て

📍 **秦梨保育園**

泰梨小学校から850m (車で2分)

📍 **常磐保育園**

常磐小学校から52m (徒歩1分)

📍 **岩松保育園**

奥殿小学校から95m (徒歩1分)

エリア内にある、3件の保育園と2件の幼稚園の他、常磐小学校から15分圏内に6件の幼稚園があるなど、教育方針や利便性などから選ぶことができます。また、恵田小学校から車で10分の距離にある「岩津市民センター」には図書室、「北部地域交流センター・なごみん」にはプレイルームがあるなど、子育てに優しい環境があります。

編集部の声

買い物できるお店や保育園、幼稚園も車で10分圏内。
生活インフラに不足なく、快適な生活を送ることができます！

このエリアの魅力図鑑

風土や文化を知るとこのまちをもっと好きになるはず

毎日通うわけではないけれど、このまちの環境を知ること、オクオカ生活が鮮やかなものになるかもしれません。一般に広く案内されている観光地や史跡から、このエリアを支える産業や教育行事まで、魅力的なものを紹介していきます。もちろん、ここで紹介しているものは数多くあるもののひとつです。ぜひ皆さん自身が発見してみてください！

生平・秦梨 ODAIRA・HADANASHI

ふるさとカルタ | #教育 #文化

昭和53年ごろ、全校児童から募集した句を元に当時の教員と児童が手作りで作成しました。普通サイズと大型サイズがあり、普通サイズのカルタを使って現在も毎年全校児童でカルタ大会が行われています。題材となっているのは、学区の言い伝えや風物、偉人や自然です。子どもの話し言葉で書かれており、親しみやすく、ふるさと学習として定着しています。

ゲンジボタルの保護活動 | #教育 #自然 #文化

昭和41年より、河合中学校、生平・秦梨・美合小学校で幼虫の人工増殖にとりくみ、その翌年には、当時河合中学校の教員であった古田さんが声をかけゲンジボタル河合保存会活動が始まりました。乙川・男川水系、竜泉寺川水系、山綱川水系を中心とした美合、河合地区は国の天然記念物岡崎ゲンジボタル発生の地として保護されており、現在も各地域の保存会と学校が連携しながら熱心な保護活動を行っています。



出典：岡崎まちなものがたり

秦梨 HADANASHI

学校ビオトープ作り | #教育 #自然

平成12年以来、学区の方とともに小学生たちが学区の森林、水田を再生していく里山再生活動に取り組んでいます。全国学校ビオトープコンクール等で数々の賞に輝いています。なかでも「ふるさとトープ」には里山の肥沃な湧水が引かれ、ザリガニ釣り、メダカの飼育、オタマジャクシの観察など、五感を生かして生き物たちと触れ合う体験ができるようになっています。

少年自然の家 | #教育 #自然

3階建てのロッジとキャンプ場を備え、岡崎市内の小中学生が野外活動で利用できます。自然の中での集団生活を通じて情操や社会性を豊かにし、健全な少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設です。

生平 ODAIRA

切越の夫婦ヒノキ | #自然

推定樹齢400年。階段両脇の岩上に生息する一対の老樹です。枝は長く垂れ下がり、10mを超える長さがあります。太い根が多く、岩を抱えながら地上に露出しています。互いを思いやるように伸びる枝ぶりが圧巻です。

三河富士登山大会 | #教育 #自然

大会は毎年11月に、小学校の児童だけではなく地域住民も参加できる形で実施されます。生平小学校をスタートに蓬生町の須佐之男神社を目指して約2時間ほどをかけて三河富士を登る恒例行事です。

切越の八面塔 | #歴史

自然石を積み上げて作られている8基の多層塔です。中世の何らかの祀遺跡とも推測されていますが、決め手がなく謎の石塔とされています。三河地震にも耐え、これまで一度も崩れたことがないと言われています。

全校縦割り探鳥会 | #教育 #自然

昭和57年に県から「愛鳥モデル校」の指定を受け、探鳥会をスタート。現在では、全校縦割り探鳥会を実施し、岡崎野鳥の会などを招き保護者と一緒に野鳥観察を行っています。高学年の児童が低学年の児童に野鳥の特徴や観察の仕方などを教えています。また、観察にとどまらず保護活動や広報活動など野鳥が住み続けるための環境保全活動も実施しています。



出典：岡崎まちなものがたり

反もう業／フェルト工業 | #産業

明治期に川に水車を設置しその動力を使ったガラ紡の技法が広まり、繊維業が栄えていました。その後もその流れを汲み、戦後の物資が少なかった時代には繊維をリサイクルする反もう業で栄え、現在ではその技術を活かしてフェルト製品が作られています。自動車の内装材や、インテリア、寝具、空調機器、土木工事など、幅広い用途で利用されています。

須佐之男神社 | #歴史

銅ぶきの社殿の神社。最初は乙川河畔に祀られていましたが、大正年間にここに移されました。正面の石段は103段あります。出雲神話に出てくる川の伝説を基盤にしたと考えられ、須佐之男神社は川の流域に分布しています。

📍 自然薯栽培 | #産業

かつて日本一の葉タバコ生産地だった場所が自然薯畑となり、「常南自然じょ生産組合」も結成されています。この地で生産されている「夢とろろ」という品種は強い粘りと食味が良いのが特徴です。岡崎市のブランド化推進品目にも指定されており、出荷時期の11月上旬～翌年2月頃までは御歳暮用など贈答用としても人気の特産品となっており、夢とろろを使用した自然薯焼酎「葵の郷」など、地域の商品にも活用されています。



出典：岡崎おでかけナビ

📍 とろろご飯の会 | #教育 #自然

昭和57年から常南自然じょ生産組合の協力を得て毎年行っています。常磐南小学校では、自然薯の他にも春のワラビ採取や米づくりなど、食に関する教育が熱心に行われています。5,6年生によって春に植えられた自然薯は11月中旬に収穫され、生徒たちがすりおろし、同じように学校で育てたお米にかけてとろろごはんにして食べます。

📍 岩谷観音 | #歴史 #文化 #観光

行基が聖ヶ峰に登り、岩穴に聖観音菩薩を安置したのが岩谷観音の始まりです。聖ヶ峰に登れば、東に富士、北に日本アルプスなどが遠望できます。17年ごとに「ご開帳」がなされ、稚児行列、奉納餅行列などの関連する行事も行われます。

📍 道根往還 | #自然 #歴史 #観光

額田方面から岡崎へ出る幅2mに満たない古道です。現在の東公園の入口付近から、鍛埜(かじの)町に至るまでの古道で全長は約10km。高所の「尾根(どうね)」を通る道であったため、こうした名称で呼ばれています。明治時代までは人馬の道として、主に炭・米・日用品の運搬に盛んに利用され、一日に100頭程の馬が往来しました。沿道にあった茶店跡などが今も残されており、起伏が少なく歩きやすい古道です。

Check!

かつて山とまちを結んだ道です。
馬や人々が通ったことを想像しながら
歩いてみてください。



常磐東 TOKIWAHIGASHI

📍 牛落溪谷 | #自然 #観光

かつては、大沼街道の最難所として知られた険路でした。今も密林に囲まれた幽しい境であり、谷底へ降りると一の滝から四の滝まで合計落差30mはあろうかと思われる壮大な滝を見ることができます。

📍 辻のやまざくら | #自然 #観光

新居辻にある大樹の山桜です。放射状に伸びた枝から咲く花は、緑の中に扇を開いたような眺めとなり、4月上旬ごろに満開を迎えて春の訪れを告げてくれます。樹高は約15m、樹齢は推定150年です。

📍 熊野神社のどぶろく祭り | #歴史 #文化

熊野神社の氏子が毎年交代で仕込むどぶろくを振る舞う祭礼です。10月に2回仕込みます。ご飯を硬めに炊いて麴と水を加え、朝晩かき回します。できたどぶろくは、まつり当日にお神酒として神社に供え一般参拝者にも振る舞われます。

📍 青木川のこいのぼり | #文化

4月末から5月初旬に常磐東小学校の前を流れる青木川に、市民の寄付によって集められたたくさんのこいのぼりを飾る地域行事です。地元の有志で作られた「青木川こいのぼりの会」によって毎年設置・メンテナンスがされています。常磐東小学校では、児童の健康を祈って、このこいのぼりを背景に、毎年全校写真を撮影しています。太陽の光を浴びて色とりどりのこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいる姿は一見の価値あります。



出典：岡崎おでかけナビ

📍 瀧山東照宮 | #歴史 #文化 #観光

瀧山寺の隣にある瀧山東照宮は、正保3年3代將軍徳川家光公の創建で、日光東照宮・久能山東照宮とともに「日本三東照宮」に数えられています。瀧山寺本堂よりも一段高い所にあり、拝殿・中門・本殿などのほか、家光公寄進の太刀銘長光と家綱寄進の太刀銘正恒は国の重要文化財に指定されています。本殿と拝殿の間に中門があるのが特徴で、極彩色の東照宮様式で建てられている社殿は往時の徳川家の権勢を今に伝えます。



📍 瀧山寺・瀧山寺鬼まつり | #歴史 #文化 #観光

奈良時代創建の天台宗の古刹で、熱田大宮司家、源頼朝の鎌倉幕府、歴代の足利氏、そして徳川家の恩恵を受け、文化発信の地として三河地方で重要な役割を担ってきました。鎌倉時代から続く鬼まつりは、農作物の豊作を祈願して三河路に春を告げる祭りと言われています。見どころは、赤々と燃える松明を持った若者たちと共に、祖父面、祖母面、孫面の三鬼が、国重要文化財の本堂を舞台に炎と共に回廊を乱舞するところです。



📍 石材 | #産業

常磐地区では、古くから豊富で良質な花崗岩が産出されます。室町時代に岡崎城が築城される際、建築資材や石垣の材料として切り出されたのが始まりといわれており、よい石がたくさん採れることから全国から職人が集まり、以来、岡崎で発展を続ける石屋町の業績を支えてきました。現在では墓石や灯籠などに多く利用され、現在でも3カ所の石切り場が稼働し、石切り場を活用した新しい取り組みや商品も生まれはじめています。



Check!

岡崎は実は上質な石がとれる「石のまち」でもあります。
このまちでとれる石の種類を調べてみると、
新しい楽しみ方ができるかも

自然や文化について聞いてみました

親も子も、ありのままに
子育てができる環境があります。

ぶどう園で働きながら子育てをした利枝さんは、「自然の中に来ると、いろんなことをまあいかな、と許容範囲を広くできる気がします。そのおかげで随分子育てが楽になりました」と語ります。このまちなら、初めての子育ても肩の力を抜いてできるかも。



中根利枝さん
(桑原町在住)

駒立町生まれ。現在も駒立町のぶどう園を義兄とともに切り盛りして、新しい取り組みも行っています。

国の重要文化財である
「鬼まつり」に参加できるかも。

国の重要無形文化財に指定されている奇祭「鬼まつり」。このまちに暮らすと、このお祭りに参加する機会があるかもしれません。鬼の面は希望者がつけるそうです。18歳の時から毎年参加している中根さん曰く「熱さは慣れる」そうですが、緊張感がありますね。



中根浩司さん
(滝町在住)

滝町で生まれ育ち、現在は岡崎では数が少なくなった山石屋(山から石を切り出す職人のこと)として働いています。

山ともまちとも
ちょうどいい距離感です。

奥殿町で働き始めた池富士さんは「高速道路の豊田東ICが近く便利ですね。仕事で他の場所にも行きやすいし、まちなかに行くのも近いから案外不便じゃないんですよ」とおっしゃいます。ちょうど山とまちの入口、出口がこの辺りといえるかもしれません。



池富士裕さん
(細川町から奥殿町に通う)

県外からオクオカへ移住し、奥殿町に家具の設計製作を行う工房を立ち上げ活動を行っています。



📍 **ぶどう農園** | #産業 #自然

戦後間もなく養蚕に代わる作物として、地域の環境に合った「ぶどう」が注目され栽培が始まりました。その後、昭和35年に名鉄バス路線が開通し「観光ぶどう園」として人気を博します。現在の観光ぶどう狩りは、川あそびやパーベキューもでき、秋になると市外からも多くの観光客が訪れています。

恵田小学校では、6年生の授業でブドウの栽培に取り組み、収穫は全校児童で行い、地域の産業を子どもたちに伝えていく教育がされています。



Check!

秋ごろにはぜひ遊びにきたい場所のひとつ！

📍 **落ち葉スキー場** | #教育 #自然

冬場の子どもの体力づくりの目的で昭和32年からはじまった、恵田小学校の冬の恒例行事です。小学校の裏山に「落ち葉スキー場」が整備されており、スキーの板に学校給食で発生する廃油を塗り滑りやすくし、児童が滑っていきます。11月から2月まで体育の授業の中でも練習が実施され、聾学校の児童との交流の場にもなっています。



出典：岡崎まちものがたり

奥殿 OKUTONO

📍 **カヌー練習場** | #教育 #自然 #文化

巴川の流れを活かした昭和45年に建設されたカヌー場。平成6年のわかしゃち国体で会場になったことを契機に整備が進みました。現在では、岡崎カヌー協会が管理し、新香山中学校、杜若高校、岡崎カヌークラブが練習場として使っています。中でも、新香山中学校のカヌー部は毎年、全国大会等で活躍しています。

📍 **二畳ヶ滝** | #自然 #観光

高さ30m、幅7mにわたり、激流が畳状の岩盤を二条に別れて流れ落ちることから、二畳ヶ滝と呼ばれています。大蛇が住むといわれる穴があり、「目撃すると熱病になる」「滝に触れると祟りがある」などの伝承があります。

📍 **村積山** | #自然

標高257mの美しい山で、古来から三河富士、花園山とも呼ばれ頂上には村積神社があります。山頂の展望台へは、徒歩40分ほどで登れます。頂上からは、遠く御岳山も眺めることができ、岡崎平野や矢作川の清流が一望できます。

📍 **奥殿陣屋** | #歴史 #文化 #観光

江戸時代、松平真次から始まる奥平松平家が藩主を務める奥殿藩の中心地として、御殿・役所・書院・学問所・厩・馬場などがありました。その後、廃藩置県の際に御殿などは壊され田畑となりますが、昭和60年に寺院の庫裏として使われていた書院が跡地に移築され、「奥殿陣屋」の名でオープンし、現在は「村積山自然公園」の一部として整備され、書院や日本庭園、食事施設、観光農園などを持つ観光施設となっています。



Check!

ゆったりと歩ける日本庭園がおすすめです！

編集部の声

ぶどう園がおすすめ！モデルコース

9:00 東岡崎駅 — 🚗 40分 → 9:40 二畳ヶ滝 (所要時間30分) — 🚗 15分 →
10:25 駒立のぶどう園 (所要時間3時間) ※ランチもぜひ！ — 🚗 20分 → 13:45 滝山寺 (所要時間1時間)
— 🚗 25分 → 15:10 村積山 (所要時間2時間) — 🚗 25分 → 17:35 東岡崎駅

最後に登る村積山は頂上からの眺望だけでなく、道中の豊かな自然もお楽しみください。

このエリアの小学校・中学校

自然豊かなオクオカでのびのびと子育てしませんか

自然豊かなオクオカでは、まわりの環境そのものが偉大な「先生」なのかもしれません。歴史を引き継ぎ、文化や環境のなかで育まれてきたオクオカにある小中学校を紹介していきます。

📍 生平小学校

創立：明治5年（1872年） 生徒数：55人（2024年度）



「全校縦割り探鳥会」「ふるさと愛鳥新聞」の発行など愛鳥活動を核とした活動や、「ふるさとカルタ」「三河富士登山大会」などの体験を通して、人間関係を育み、自分らしさを発揮できる学校生活の実現に取り組んでいます。毎年4月には河合中学校、生平小学校、秦梨小学校の3校が一緒になり、ホタルの放流を行っています。

📍 秦梨小学校

創立：明治6年（1873年） 生徒数：34人（2024年度）



学校林「にこにこ山」を生かした里山再生活動、「ふるさとトープ」を核にした学校ビオトープ作り、学校田でのもち米作りなど、地域の環境やそこに暮らす人々の営みから学ぶ取り組みをしています。「だれ一人取り残さない」を合言葉に、一人一人に寄り添い、自ら考え、判断し、行動できる子供を育てています。

📍 常磐東小学校

創立：明治34年（1901年） 生徒数：45人（2024年度）



校内に約80種の木々が生えている自然豊かな学校で、南斜面にはシンボルとして「トキワヒガシ」の植栽文字があります。北側に位置する「常東ランド」には展望台やツリーハウスが設置され、子供たちの自然学習の場として活用されています。春には学校の前を流れる青木川に鯉のぼりを飾る「青木川の鯉のぼり」も行われます。

📍 常磐南小学校

創立：明治39年（1906年） 生徒数：165人（2024年度）



地域の協力のもと自然薯栽培を行っている他、ワラビ採取や米づくりなど、食に関する教育が熱心に行われています。12月には収穫した自然薯をすりおろし、学校で育てたお米にかける「とろろご飯の会」を実施しています。この自然体験活動や地域との協働体制が評価され「第2回あいち食農教育表彰」で優秀賞を受賞しました。

小規模特認校指定校とは

小規模特認校制度は、岡崎市内の小学校に在籍する児童であれば、現住所のままで一定の条件のもと、小規模特認校として指定された小学校に入学・転入・編入できる制度です。市内の自然環境に恵まれた小規模特認校に通学することにより、地域の特色を生かした教育活動のもと、きめ細やかな指導を通して、豊かな人間性や健やかな体、確かな学力を身につけさせることを目的としています。2024年度時点で、恵田・形埜・下山・夏山・秦梨・宮崎の6つの小学校が指定されています。

📍 常磐小学校

創立：明治6年（1873年） 生徒数：191人（2024年度）



全校生徒を4つのチームに分けて年間を通して活動する「縦割り班活動」、通学路や公園のごみや落ち葉を拾う「常磐クリーン作戦」、地域の人との関わり合いをもつ「常小ふれあいデー」等、感謝の心、奉仕の心、郷土愛を育てる教育を行っています。すべての児童が生き生きと活動し、学ぶ喜びが溢れる学校づくりに取り組んでいます。

📍 恵田小学校

創立：明治7年（1874年） 生徒数：40人（2024年度）



子どもたちの体力づくりを目的に、学校の裏山を整備して「落ち葉スキー」を実施しています。また「一輪車」にも力を入れており、蹴り上げやタイヤ回しなど高度な技に挑戦しています。他にも「米作り」「ぶどう栽培」「岡崎聾学校との交流」など、地域と協働した楽しい教育活動を実施し、豊かな心づくりに取り組んでいます。

📍 奥殿小学校

創立：明治5年（1872年） 生徒数：83人（2024年度）



春に行われる「わらびがり」や、冬に行われる「もり花づくり」など伝統行事に力を入れた教育を実施しています。自分たちで採取したわらびを、地域の方が収穫したたけのご等と一緒に販売する活動も行っています。先人から学び、ふるさを誇りに思う心の醸成を行うとともに、自ら価値判断や意思決定のできる子を育てています。

📍 河合中学校

創立：昭和22年（1974年） 生徒数：63人（2024年度）
生平学区、秦梨学区の生徒が通います。



矢作川の支流である乙川と男川が合流する地点に位置し、周りは山に囲まれ、初夏にはホタルが飛び交う自然豊かなところにあります。ゲンジボタルの保護活動で全国的な評価を受けており、昭和41年から「ゲンジボタル保護・育成活動」をはじめ、毎年養殖した幼虫を放流し、その活動を地域の保存会などが支えています。

📍 常磐中学校

創立：昭和22年（1947年） 生徒数：252人（2024年度）
常磐南学区、常磐東学区、常磐学区の生徒が通います。



地域環境や少子高齢化などの課題に向き合いながら、持続可能な地域づくりについて学んでいます。「伝統を守る」という観点から、学校に隣接する瀧山寺の歴史的価値を調べ、広報活動などにも主体的に取り組んでいます。また、鬼まつり当日に販売する鬼の顔をかたどった「土鈴」を制作も生徒が意欲的に行っています。

📍 岩津中学校

創立：昭和22年（1947年） 生徒数：409人（2024年度）
恵田学区、岩津学区、大樹寺学区の一部の生徒が通います。



秋の「ボランティアデイ」には、通学区の清掃活動や、岩津城址の歴史的背景などを学んだ後に竹や枯れ木の清掃活動をしています。時代の変化に対応できる「徳・知・体」の調和のとれた人間性豊かな岩中生の育成を教育目標に掲げています。

📍 新香山中学校

創立：昭和59年（1984年） 生徒数：496人（2024年度）
奥殿学区、細川小学区の生徒が通います。



山林を開いて学校が建てられた背景から、人間と動物の共生が身近な問題となっており、地域の環境問題を総合学習テーマとして取り上げています。校花である「ササユリ」の保護活動も行われ、ササユリの観察や保護区域の下草刈りを行っています。また、市内唯一のカヌー部があり巴川にある練習場で練習し、全国の大会で活躍しています。